

ES通信

Clinical Simulation Center's Newsletter

If you keep on believing,
the dreams that you will
come true.

~Cinderella~

第25号

2019.1月発行

臨床シミュレーションセンター

インフルエンザが猛威を奮っておりますが、皆さん体調は崩されていませんか？ご自愛くださいませ。今年は5月に元号も新しくなりますね。心機一転、充実した毎日を送れるように邁進していきましょう！今年もヨロシク★ミ

第14回日本医学シミュレーション学会学術集会 参加レポート

2019年1月12日(土)～13日(日)に大阪医科大学にて開催された「第14回日本医学シミュレーション学会学術集会」へ、スタッフ渡邊が参加してまいりました。

今回は「つなぐ～日本発の Evidence-based simulation training を目指して～」というテーマのもと、世代から世代への伝導、多職種連携、世界と日本の医学教育を「つなぐ」といった内容の講演会やハンズオンセミナーが開催されました。全国各地から300名近くの参加者があり、とても活気に溢れた学会となっていました。

興味深かったのは、時代とともに変化していく学生や研修医へ、どのように教育していくべきかという講演でした。コンピュータやネットワークの進歩により、情報に溢れている現代社会では、“結果”というものは簡単に見つけることができます。その“結果”を求めている私たちは兎角そこいきつまでの過程を軽視してしまう傾向にあり、自発的に調べたり考えたりしようとするのがとてまなくなりまして。しかしそれではイレギュラーが発生した時に対応することができず、呆然と立ち尽くすしかありません。臨機応変に対応できるようになるためには、ひとつの“結果”にも、そこへ行きつための複数の思考・行動ルートが必要になります。

現代の学生や研修医に、このことをどのように教えていくべきか。年配者と若年者双方の歩み寄りが必要なのは言うまでもないことですが、それを教育として教え込んでいくのか、経験として積み重ねていくのか、様々な意見が交わされ、聴いている此方としてもとても考えさせられた講演でした。

これは医療現場だけでなく、事務の仕事や私生活の場面にも言えることです。ある事象にイコールでひとつの“結果”を結びつけるのではなく、あらゆる可能性を探っていくことで、思考力や行動力が養われ、どんな場面にも即座に対応できるようになり、さらには新しい“結果”を生み出すこともできるのだと改めて気づかされました。

次回の第15回は2020年2月29日(土)～3月1日(日)に、新潟県にての開催が予定されています。次回のテーマは「リアル以上」とのこと、どんな内容の講演を聴くことができるのか、今からとても楽しみです。

研修医レクチャーのお知らせ

近日開催が予定されている研修医レクチャーは以下の通りです。(コンピュータアシストラボ/18:30～)

日程	担当講師	内容
2月8日(金)	松坂先生	救急外来での高齢者診療
2月22日(金)	松坂先生	エラーから学ぼう！
3月8日(金)	松坂先生	救急で覚えておきたい薬剤
3月15日(金)	松坂先生	医者として知っておきたい癌の知識

※予定の変更も有り得ます。

詳しくは救急医学講座か卒後臨床研修センターへお問い合わせください。



大阪府高槻市のゆるキャラ
“はにたん”も登場！



来年度の年度予約を絶賛受付中です！

2019年度の年度予約の受付を開始しています。講義や勉強会など、一年単位でのセンターの利用をお考えの部署は、どうぞご予約下さい。既にご予約を頂いている部署もありますが、**予約は先着順ではなく、利用内容により優先度が変わります。**

【H30年度の予約例】

毎週月～金	13:00～17:00 (月曜のみ 16:00 まで)	救急医学講座	コンピュータシミュレーション / 救命救急スキルラボ
6月まで 毎週月曜日	10:00～12:00	第一内科	コンピュータシミュレーション / 感覚器診断スキルラボ
毎週月曜日	15:00～17:00	臨床検査医学講座	基本的臨床スキルズラボ
毎週月曜日	16:00～17:30	救急科	コンピュータアシストラボ
毎週水曜日	9:00～12:00	呼吸器センター	コンピュータアシストラボ
毎週水曜日	9:00～10:30	眼科	感覚器診断スキルズラボ
隔週木・金曜日	18:30～20:00	救急科・卒後臨床研修センター	コンピュータアシストラボ
第1・3木曜日	15:50～17:30	医療安全管理部	コンピュータアシストラボ
2019年1月から 毎週火曜日(次年度継続)	13:00～15:00	第一外科	基本的臨床スキルズラボ
2019年1月から 毎週金曜日(次年度継続)	8:30～9:30	第一内科	感覚器診断スキルズラボ

※この他、年間不定期で看護部の技術研修等の予約が入っていました。

利用部署の増加に伴い、年度予約の受付の見直しを実施しています。これまで例年通り変更なく予約をされてきた部署は、使用状況を見直し、**実際に使用される日程・時間帯に絞って申請して頂きますようお願い致します。**

変更なく予約された場合、過去数年分の利用率を明示し、再検討して頂くこともあります。

これに関して、詳細を記載した「平成31年度 年度予約の申請について」を各所へ配布しておりますので、併せてご確認ください。

年度予約の締切日はありませんが、4月初めよりご利用をお考えの場合は、3月中に申請をお願い致します。



新規導入シミュレータのお知らせ

新しく2種類のシミュレータがCSCに導入されましたのでご紹介いたします。(どちらも他部署所有物品。)

①頸部リンパ節・甲状腺触診モデル(耳鼻咽喉科所有物品)

診察部位に異常及び正常所見を示す状況を再現しており、診察手技を臨床推論と共に学ぶことが可能。柔軟性に優れ生体に近い触診の感覚を再現した新素材を採用。

②マイクロニードルポート穿刺トレーニングモデル(看護部所有物品)

鎖骨下静脈および内頸静脈経路で留置したCVポートに穿刺するトレーニングモデル。特殊樹脂で作られており、皮膚越しの指先の感触が非常にリアル！



新規シミュレータ等購入に関するアンケートへのご回答をありがとうございました！

2018年11月から12月末まで実施しておりました「新規シミュレータ等購入に関するアンケート」へご回答を頂き、ありがとうございました。前年度に引き続き数多くの申請を頂き、多くの部署がシミュレータを必要としていることを窺い知ることが出来ました。

ご申請頂いた各部署への結果は、後日改めてご連絡申し上げます。

アンケートは毎年実施予定です。来年度も多くの回答を賜りますようお願い致します。

旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター
内線：2860 スタッフ：渡邊/菊地/尾形
<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>
E-mail: skillslab@asahikawa-med.ac.jp

